

核廃棄物、アレルギー、食と農…

社会問題題材 映画作り30年

神戸拠点の活動グループ

神戸を拠点にドキュメンタリー映画の自主製作を続ける「映画製作委員会」の活動30周年記念上映会が10月1、2日、神戸市中央区脇浜海岸通1の兵庫県立美術館ミュージアムホールである。
(富屋雅人)



「もういいかい〜ハンセン病と三つの法律」から

1984年、映画ブームを発表した。ロテューサー 鶴久森典。その後も、子どもの妙さん(68) 西宮市上 アレルギー問題から食田中町、監督の高橋一を考える「奇妙な出来郎さん(62) 神戸市須 事アトピー」(91年、慶区IIを中心に結成。日本記録映画作家協会第一作は、原発が動く 賞受賞)をはじめ、農限り増え続ける核廃棄業を通じた人と自然の物問題を追う「2400年 在り方、誤った国策が00年の方舟」(86年) 偏見と差別を生んだハ

県立美術館で来月1、2日 ハンセン病の作品など上映



「24000年の方舟」から

ンセン病問題などを取の方舟(、11時5分||り上げてきた。「24 「奇妙な出来事アトピー000年」は福島第一、午後1時||「紙芝1原発事故後、再評価 居がはじまるよ!」、1され、全国で上映され 時45分||「風ものがたり」、3時||「ブランド続いている。」
鶴久森さんは「30年ン農学校の尾崎さん」がたつたが、テーマに▽2日午前10時半||してきた問題は何も解「もういいかい〜ハン決していない。多くのセン病と三つの法律」。人と一緒に考えていき 1日券500円(中学生以上)。映画製作したい」と話す。
上映は、1日午前10 委員会 ☎078・33時半||「24000年 3・8690